

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018 年 11 月 2 日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ジョンズ・ホプキンス大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

米国メリーランド州ボルチモアに位置する私立大学。

留学した動機

①専攻の言語学を、認知科学と関連づけて学ぶこと。ジョンズ・ホプキンス大学では、認知科学(Cognitive Science)の学科の中に言語学の部門が位置付けられており、言語学と認知科学の両方と結びつきの強い授業が提供された。卒業研究に繋がる収穫を得ることを目標に学業に取り組んだ。
②アメリカの大学教育を身をもって体験したかった。以前に経験したアメリカの高校への留学や、海外の大学に進学した友人の話、また「日本の大学は…、アメリカの大学は…」といった言説との接触を通じて私は、海外の大学、特にアメリカのトップ大学に実際に身を置いて勉強したいという気持ちを持っていた。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2018 年	学部3	年生の	A2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2018 年	1 月~	2018 年	5 月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018 年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018 年	学部4	年生の	11 月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			61	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			10	単位
	留学後の取得(予定)単位			20	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015 年	4 月入学	2020 年	3 月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5 年		0 ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

1年間の留学も検討したが、学部3年次の個人的事情から、1学期間の留学に決めた。就活及び卒業研究の時期との兼ね合いから留年することにした。

留学の準備					
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)					
東大及び留学先大学からの指示に従えば、特に問題はないかと思えます。 留学先での授業に関しては、シラバスがオンラインで公開されているケースがほとんどなので、それを参照します。しかし、実際に自分が留学をするタイミングで希望の授業が開講されるか否かはどうしてもわからないので、とにかく受けてみたい授業を申請時には書くのがいいと思えます。					
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)					
アメリカの交換留学ビザに関する情報は、調べるとたくさん出てきます。					
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)					
特になし。					
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)					
留学先大学での必須保険と、東大の保険の両方に加入しました。					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)					
特になし。					
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)					
申請時に満たさなければならないTOEFLの点数が他の大学に比べて高いので、早めに一度受験し、そこから点数アップを図るのがいいと思えます。出発時点でTOEFL114でした。					
⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Syntax I	3	●			
Bilingualism	3	●			
National Identity of 20th Century China & Japan	3	●			
Japanese Politics	3	●			
First Year Chinese	4.5	●			
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)					
どの授業でも、常時リーディングと課題が出ます。学業的には非常にハードな生活でした。					

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など
一つの授業、通常週あたり150分間の授業があります。週1コマ150分のものであれば、週2コマ75分ずつのもの、週3コマ50分ずつのものもあります。
④学習・研究面でのアドバイス
ホプキンスは勉強が好きな学生が本当に多く、皆本当に勤勉です。プレッシャーを感じながら集中して学業に取り組むには絶好の環境だと思います。
⑤語学面での苦勞・アドバイス等
現地の学生と同じレベルで全てをこなそうと思っても無理なので、自分なりの合格ラインを決めて取り組むことが大切だと思います。
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
基本的に留学生はキャンパスの目の前のNine Eastという寮に入ることになります。 (http://www.nineeast33rd.com) 数年前にできた新しい施設で、とても綺麗です。個室4つとリビングルームからなる4人部屋でした。個室があるのは過ごしやすかったです。 家賃は\$5000/semesterくらいです。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
ボルチモアの治安は非常に悪い。公共のバスでもヒヤリとすることがあるので、Uberや大学の無料送迎車(大学周辺数キロまでなら自由に利用できるタクシーのようなもの)を使っていました。大学キャンパスの外周には警備員が50m以下の間隔で配置されているので安心だが、数ブロック離れると危険です。 日本人の口に合うChipotleというメキシカンのお店がすぐそばにあったので、食には困りませんでした。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
治安は本当に悪いので、気をつけましょう。心身の健康管理のためには大学や寮のジムに通いました。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
生活費は月5-6万円
・留学に要した費用総額とその内訳
120万円(寮50万、生活費30万、航空・旅行費40万)
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
Fung Scholarships 大学内での選考、月8万円
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
春休みにキューバとメキシコ旅行をした。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

ライティングセンターを活用すると思います。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は24時間開いており、ジムも無料で使うことができます。食堂はミールプランに入っていれば使えますが、高額なので使用しませんでした。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

3年次から4年次にかけて留学に行くと、どうしても日本での就活の時期を逃してしまうので、留年をする事になりました。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

就職に関してではありませんが、アメリカのトップ大学の学生が日々あれだけ勉強をしているという現実、私は大きな衝撃を受けました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

英語力の向上、日本及び日本の大学を相対化して見る環境に置かれること

②留学後の予定

3年次中に就活を行い、4年次には卒業研究を行う。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

ホプキンス、自信を持ってお勧めできます。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

JHU Class Search

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年 9月 10日

東京大学での所属学部・研究科等:	法学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ジョンズ・ホプキンス大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

アメリカ合衆国メリーランド州の最大都市ボルチモア(ワシントンDCから電車で一時間)に所在するジョンズ・ホプキンス大学は、1876年にアメリカ初の研究型大学として設立されました。(それ以前に米国の高等教育機関で主流であった宗教教育などではなく、学術的研究に重きをおく大学という意味です。) 2018年度のUS Newsのランキングでは全米11位です。ワシントンDCには分校として、国際関係大学院であるSAISがあります。

留学した動機

以前から、自分の生まれ育ったのと異なる社会に身をおき、視野を広げてみたいと考えていました。また、大学で国際政治などを学ぶ中で、国際社会の中で重要な位置を占めるアメリカの視点を内側から学びたいと考えるようになりました。歴史的に人種・宗教などの違いの問題を抱えてきたアメリカで、そのような問題について考えてみたいとも思っていました。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	8月~	2018年	5月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	年		年生の		月頃に 行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		48	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		8	単位	
	留学後の取得(予定)単位		56	単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

学部選択の後に留学したかったため。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

学内選考を通過した後の手続きはごく簡単でした。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

アメリカ大使館のウェブサイトより手続きを行います。揃える書類も多く、面接も枠が限られており要予約、また面接からビザが貼られたパスポートが発行されるまで一週間かかるので、早めにやっておくと安心です。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

留学先から予防接種のチェックリストが送られてきました。まずは本郷の保険センターで相談し、そこで受けられない予防接種は外部の病院に受けに行きました。予防接種には数回接種が必要なものもあるので、早めに準備すると安心です。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大の付帯海学・留学先の学生用保険の両方に加入しないといけませんでした。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

学部では簡単な手続き・面接のみでした。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOEFLの勉強をしていました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

多くのものは現地で買えますが、筆記具やノート(紙製品は高価)、薬などは持参して良かったと思います。留学前から何かしら英語に触れる機会を作ると良いとは思っています。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Ancient Political Thought	3		American Intellectual History since the Civil War	3	
American Constitutional Law	3	●	The Executive Branch	3	
Geopolitics, Nuclear Weapons and World Order	3		Time and Punishment	3	●
Southeast Asia and US Security	3	●	Congress and Foreign Policy	3	
Oral Presentations	3		The China Boom	3	●

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

政治系の授業を主に履修していました。事前のリーディングは各授業平均100ページほど、それに加え発表、レポート、試験などが課されます。政治系の授業は少人数のもの(10数人ほど)のものが多かったです。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

2学期とも5科目(15単位)履修していましたが、特に一学期目はかなりきつかったです。ひとつの授業は大体毎週2時間-2時間半くらいですが、予習や発表の準備、レポートなどに大体その5倍以上(授業にもよりますが)の時間を取られていました。

④学習・研究面でのアドバイス

慣れない学習スタイルの場合もあると思いますので、困ったら先生に相談することをお勧めします。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

授業内の議論に参加するのは大変で、特に内容に馴染みのないクラスでは最後までなかなか発言できませんでした。また、リーディングの量が多く、skim reading(斜め読み)が苦手な私は苦労しました。時間のないときは優先順位をつけることが大切だと思います。

生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
大学が留学生のために学生アパートを抑えてくれました。四人でアパートのユニットをシェアする形式で、個々人の寝室は分かれています。家賃は一年を通して10700ドル、もっと安い場所を探すことも可能ですが、建物は新しく綺麗でキッチン・家具付き、またキャンパスからも徒歩一、二分だったので、安心して暮らすことができました。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
気候は東京とほぼ同じです。大学周辺には学生アパートが多いです。出かける際は大学のバスや市営の無料バス、uberを使っていました。食事は主に自炊していました。大学の近所にBank of Americaがあり、そこで口座を開いてデビットカードを作り、使っていました。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
街の治安は悪いですが、キャンパス及び学生アパート周辺では大学の警備員が多数巡回しており、キャンパス以外に行く時も治安に留意したため、実際に怖い思いをしたことは幸いありませんでした。医療面では大学の健康センターが無料で使えました。心身ともに無理をしすぎず、慣れない環境での自分の頑張りをなるべく評価するようにしていました。また、勉強ばかりでは運動不足になるため、ジムに通う学生も多かったです。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
家賃13万円、食費4万円(外食含む)、教科書・保険代2.5万円、雑費5000円ほど
・留学に要した費用総額とその内訳
以上に加え渡航費計約18万円、計225万ほど(休暇中の旅行代は除く)
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
TOMODACHI住友商事奨学金、150万円(Go Globalのウェブサイト上で見つけました)
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
JASA(Japanese American Student Association)という学生団体に入り、時々日本文化を広めるイベントを開催していました。週末は友人たちと食事に行くことが多かったです。長期休暇は旅行をしていました。また、学期終了後の夏休みに、シンクタンクでインターンをしました。
派遣先大学の環境について
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
交換留学生を担当しておられる大学の方が、手続き・履修の相談などに乗ってくださいました。
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
24時間開いている図書館・夜中まで空いている学習室があり、しばしば利用していました。私は利用しませんが、ジムの設備は充実しているようでした。ミールプランは高いので入らず、図書館のカフェや大学の周りで食べることが多かったです。学生はキャンパスでは大学のwifiを使うことができます。
留学と就職活動について
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響
日本と大きく就職のシステムが異なるアメリカで過ごしたことで、少し客観的に物事を見られるようになったとは思いますが、ワシントン及び近くにあるボルチモアに滞在したことで、現地に滞在しておられる日本人の方々にお会いすることもでき、将来を考える上で大変有用な経験をさせていただきました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)	
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください	
	1. 研究職
	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
	3. 公的機関(機関名:)
	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
	5. 民間企業(企業名又は業界:)
	6. 起業(分野:)
	7. その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

「留学先でしか学べないことは何か?」という問いの答えを、留学に応募する準備を進めていた時からずっと考え続けていました。その答えは「現地社会を反映した学問」だったのだろうか、という気がします。留学中は勉強で忙しく、大学の外の社会とはあまり関わることができなかったのですが、それでも授業、先生や友人との日々の会話、そして社会問題について意識せざるを得ない街での生活(ボルチモアの格差・人種問題はかなり深刻です)を通じ、学問は社会という基盤の上に成り立ち、それを反映していると実感しました。例えばアメリカ建国以来の人種問題は、政治思想や文化、憲法や司法など、様々な学問分野に反映されていました。日本の学問に関しても気づけなくはないことですが、客観的に見られる留学生という立場からアメリカで得られた気づきは大きかったです。また、一年間の留学をこなすことができたことは、強い自信につながりました。

②留学後の予定

ワシントンDCのシンクタンクで夏休みの間、インターンをしていました。留学先での学習の内容と関係のあるインターンだったので、留学先の大学がビザを延長してくれました。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

自分の当たり前だと思っていた社会から一旦離れ、一定期間別の社会をしてみることで気付けたことがたくさんあります。もちろん国内でも自分を律し、良い先生を見つければ学べることは多いですが、上述のような環境で学べることは少なくありません。留学を考えている方には、とにかく留学されていた先輩方を探し、話を聞かれることをお勧めします。興味のある大学を見つけるのみならず、「留学の意義」を考える貴重な機会になることでしょう。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

--

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

--